

13010 児童教育演習Ⅰ g Pupil Education SeminarⅠ 13011 児童教育演習Ⅱ g		Ⅰ：3年、Ⅱ：4年 通年 4単位	
担当者	北 脩	履修可能学科	Pe必
		関 連 資 格	
サブタイトル	自然を探究する		
授業内容 ・ ねらい	子供、特に幼児や児童は好奇心にあふれ、自然に起こる出来事に対して、また自然に生きる生き物たちの生態や行動に対して、いつも「なぜ」「どうして」という疑問を持っています。一方、私たち大人はいつのまにか自然界の出来事に対しての好奇心や探究心をさびつかせてしまっているように見えます。このゼミではもう一度自然界に起こるさまざまな出来事に対しての好奇心、探究心を呼び覚まして「自然を探究する」という作業をしていきたいと考えています。また、ここでの作業が幼稚園や小学校における遊びや学習を考える上での手助けになればとも考えています。何を課題とし何を調べるかは基本的には受講生の判断や選択に任せたいと考えていますが判断や選択の過程ではできるだけ相談のりたいたいと思います。 ちなみにこれまで選択された課題の一部を紹介すると「宮田川および鮎川の水質調査」「植物の睡眠運動」「化学物質がブラナリアの再生に及ぼす影響」「界面活性剤の生物影響」「紫外線の生物影響」「外来魚が在来種に与える影響―霞ヶ浦を例として」「タンボポ生育地の土壌環境」「幼稚園や保育園で実施可能な野菜栽培の試み」「幼稚園や保育園で実施可能な米の栽培の試み」「自然の素材を利用した玩具の製作」「保育園や幼稚園で起こる事故とその対応」その他などが挙げられます。これ以外にも「ごみ問題」をはじめとする環境問題、動物や植物の生態や行動の観察・調査、小学校理科で扱う実験・観察の方法や内容の改善など実にさまざまな課題が考えられます。		
授業計画	1、オリエンテーション 2～3、各自の課題を様々な資料を参考にしながら決定する。 4～5、調査研究の計画を立てる。 6～10、計画に沿って調査・研究を進める。 ・定期的に調査研究の途中経過を発表し問題点を洗い出す。 11～13、補足的な調査・研究 14、調査研究をまとめ発表する。 15、まとめ		
教科書 参考書	選択したテーマについて、適切な文献が探せるよう助言します。		
評価方法	出席状況、調査に対する姿勢・意欲、レポートの質、発表の質など総合的に評価します。		
事前準備学習 履修条件等			